

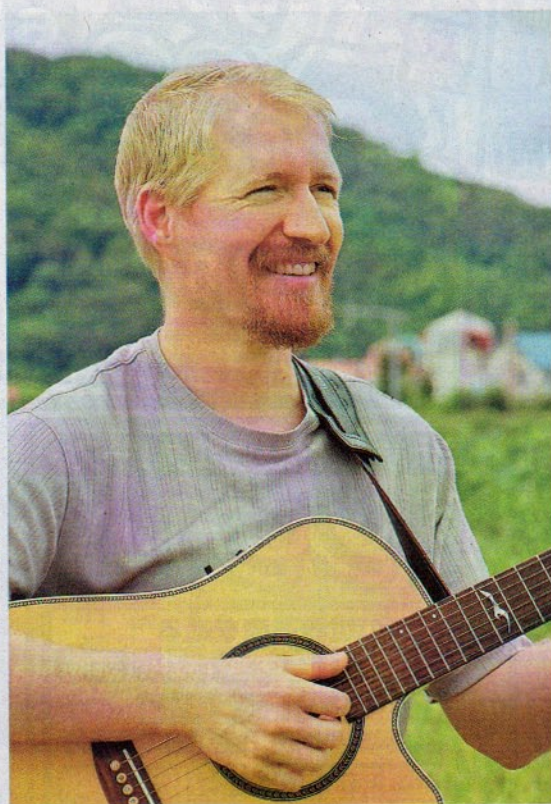
中頓別の魅力 音楽に

町内在住の米国人ボーセンさん

CDアルバム自主製作

【中頓別】町内在住の米国人英語教師ジェレッド・ポーセンさん(32)が、ギターを弾いて歌った自作曲をCDに録音、自身初の自主製作アルバムとして販売している。収録曲は中頓別の自然の中で暮らす喜びを表している。

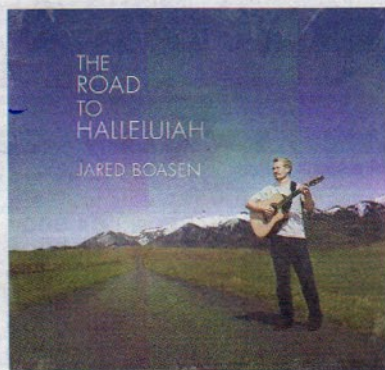
(佐々木学)



オリジナルCDを完成させたポーセンさん

題名は「ザ・ロード・トゥー・ハレルヤ」(ハレルヤへの道)。ハレルヤは英語で感謝を表す言葉として使われる。ポーセンさんは「人生の道のりの意味を込めました。人生には多くの困難があるけど、だからこそ人は成長し、感謝の心を持つようになり、人生は充実する」と説く。

収録10曲のうち、歌味があり、北大出身の医師と知り合ったのをきっかけに北海道への移住を希望。2007年、シアトルで出会っ



CD「ザ・ロード・トゥー・ハレルヤ」のジャケット写真。中頓別町弥生のハイジの丘周りで撮影した

10曲収録「ナカトン」題した歌も

た神奈川県出身の仁美さん(36)と結婚後すぐに外国語指導助手(AALT)として中頓別に赴任した。現在はAALTを辞め、英語を教える傍ら、趣味のカンフーやパラグライダー、音楽活動で仲間を増やしてきた。

録音は自宅で行い、ジャケット写真は町内で仁美さんが撮影した。ポーセンさんは「このCDで中頓別の魅力を伝えたかった。山に囲まれ、自然が豊かで、落ち着いて暮らせる。住む人の心も温かい」と、今の生活に満足している。

1500円。町内の公衆浴場「黄金湯」と枝幸町の三笠山展望閣で販売中。音楽配信サイト「iTunes Store」と「Amazon MP3」から有料でダウンロードできる。